

広 報

つたの里

「法人理念」
安らぎのある生活
その人がその人らしく
地域と共に

NO.18

2021年5月 発行



春の息吹



- P2・・・看取りケアについて
- P3・・・オンライン面会、新入職員紹介
- P4・・・オンラインコンサート (松江商業高校吹奏楽部)

新緑が目鮮やかに映る季節になり、新館中庭で栽培しているバラが色鮮やかに咲き、エンドウが実を付けました。
収穫したエンドウは、早速ご飯にして入居者様は味覚で春を感じておられました。

最期を迎えられる 「とき」を大事に

～看取り(ターミナル)ケア～

当施設では、人生最期の時間を
ご家族様と一緒に過ごして頂く
「看取りケア」を行っています。
ご家族様の気持ちに寄り添いな
がら、穏やかにその時間を過
して頂けるよう全職員で対応させて
頂いています。
本号では、施設で看取りをされ
たご家族様から、施設での生活を
振り返って頂きました。



看取りパンフレット

ご家族様から・・・

看取りケアを振り返って

*津田の里での生活はどうでしたか

いつも皆様が明るく声を掛けて下さったり、色々な要望に気持ち良く対応して頂き、家族はいつも安心出来て嬉しかったです。

*ご家族様の記憶に残っているエピソードを教えてください

本人は、いつもご飯が美味しいと言っていました。面会に行くと、決まって家族のことを気遣い「みんな元気？」と聞いたり、家族の帰り際には「みんなによろしく言って！」と声を掛けてくれていました。

*看取りになられてからの対応はどうでしたでしょうか

コロナ禍の中で、看取りをして頂けるとは思っていませんでしたのでとても感謝しています。職員の方も、頻りに様子を見に来て頂き、とても気持ち良い対応をして頂きました。最期の場面で、家族の会話で「もう最期だね」と話をしていた時、職員さんから「しっかり声は聞こえていますよ」との言葉に、ひ孫がスマホでホーランエンヤの唄を聞かせたら、口が動いて歌い出したのにはとても感動しました。

*施設で、最期を迎えられたご感想をお聞かせください

皆さんのお陰で、家族・親戚一同で見送ることが出来ました。本当に、貴重な時間を作って頂きましたこと心より感謝いたします。

看取り対応の流れ

○体調が悪くなり、嚔託医が治療しても改善が見込めないと診断された場合、看取りとなります。

○施設での看取り指針に基づいて、嚔託医、看護師、関係職員からご家族様へご様子をお伝えし、今後のケアについての方向性を確認します。

○施設での看取りへの意向確認をした後、ユニットは自室で多床室は個室へ居室移動して頂きます。

○看取りに向けてのカンファレンスを開き、ケアプランを作成し、各職種が看取りに向けたケア体制に入ります。

○ご家族様の気持ちに寄り添いながら、入居者様とご家族様が一緒に過ごして頂ける時間と環境に配慮します。

○入居者様を様子観察しながら、1週間ごとにカンファレンスを開き、振り返りとケアの見直しの必要性の有無を検討し、適宜ケアプランの見直しを行います。

○最期の時を迎えられたら、エンゼルケアを行いご家族様のもとに帰られます。

○退去後、振り返りのカンファレンスを行います。

様子が分かり喜んでいきます

オンライン面会

コロナ禍、面会や行事を中止している現状が続く中、少しでもご家族様に入居者様の元気な様子を伝えたいと、取り組みの一つとしてオンライン面会を行っています。オンライン面会をご利用頂いている、ご家族様からご感想を頂きました。

コロナ禍、直接母に会ったり、肩をもんだり出来ず、もどかしい日々が続いています。刺激が少なく、認知も進んでいないかと心配しています。

そんな中、ライン動画は様子が直接分かり喜んでいきます。ラインを準備して頂くのに、目覚めが不安定な母のために、職員さんが苦勞されていることに感謝しています。

また、近況を写真や丁寧な手紙でお知らせ頂いていることにも感謝しています。画像だと、母はいまひとつピンとこないようですが、日によっては反応もあり、声も聞いて喜んでいきます。

今後とも、よろしく願います。



対面での面会が困難な状況下、少しでもご家族様に「安心」を届けようと、オンライン面会や手紙で、入居者様のご様子をお伝えしています

新入職員紹介

■ 居宅・施設 ■

いききとした生活を



機能訓練指導員 (施設)
福田 将弘

今年四月一日より、津田の里に入職いたしました作業療法士の福田将弘です。機能訓練指導員として、ご利用者様の心身機能の回復や維持を目的に、利用者個々の状態に合ったプログラムを提案し、他職種と協力しながら実施していきます。また、ご利用者様だけでなくご家族や職員も一緒に楽しみながら、いきいきとした生活を送って頂けるよう業務に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願います。

安心して

在宅生活を送れるように



相談員 (居宅) 山田 学

四月一日、施設から居宅で介護支援専門員としてお世話になることになりました。

法人理念に掲げている「安らぎのある生活」その人がその人らしく、地域と共に「をモットーに、これまでの介護経験を生かして、在宅生活を安心して送って頂けるよう、一所懸命頑張りたいと思っておりますので、よろしく願います。

客観的な視点でのケアも大切に



看護師 (施設) 廣江 弘美

福祉施設での就業は約三年ぶりです。福祉から離れて、新たに見えたり感じたりすることが出来ました。この気持ちを大事にしなが、利用者様に寄り添い、自分自身も自己研鑽に努め一日一日を大切に過ごしたいと思っております。

季節を感じて頂けるケアを



本館介護員 (施設) 金坂 美奈

介護職に就いて六年目になります。初心に戻り、頑張りたいと思っております。

特に、利用者様はコロナ禍で外出の機会が少ないので、季節の節目や記念日に、写真を見てもらったり、お話をしながら季節を感じて頂けるよう、支援していきたいと思っております。

笑顔をやさしいケアを



本館介護員 (施設) 杉谷 真実

コロナ禍で外出の機会が殆ど無い入居者様に、少しでも外の空気を吸って頂いたり季節を感じてもらえるよう施設周辺の散歩を行ったりしながら、入居者様の思いに沿ったケアを行い、皆さんと楽しい時間を過ごしたいと思っております。そして、自分自身がいつも笑顔をやさしいよう一所懸命頑張ります。

安心・安全な生活を



新館介護員 (施設) 石原 翔太

利用者様が、安心安全に生活して頂けるよう支援していきます。

利用者様のみならず、ご家族様や地域の皆様のご様子も学ばせて頂きながら頑張りたいと思っております。よろしく願います。

音楽で 元気になろう

松江商業高校
吹奏楽部



57名の演奏は、とても迫力があり曲目も馴染みの曲が多く、皆さん一緒に口ずさんでおられました



吹奏楽部と共演したスタッフと一緒に記念撮影



オンライン コンサート

コロナ禍で、ご家族様との面会制限や地域との交流が出来ず、入居者様・利用者様は不便な生活が続いています。こうした中、松江市社会福祉協議会の働きかけにより、少しでも明るく元気に過ごして頂くとうと五月一日、松江商業高校吹奏楽部が当施設と特養長命園をオンラインで結び演奏会を開いて頂きました。入居者様は思い出の曲や、商業に来校した職員が演奏に合わせて「荒城の月」を歌う姿に大きな拍手を送られていました。入居者様は「この日が来るのをずっと待っていました。機会があれば、また開いて欲しいです」と、大変喜んでおられました。今後も、関係機関と連携しながら企画していくことにしています。

編集後記

依然として、コロナ禍の中で不自由な生活を強いられている日が続いています。いよいよワクチン接種が始まり、一日も早い終息が待たれます。こうした中、中止していた地域交流が、オンラインという形で始動しました。今後も様々な企画を検討しながら、楽しみのある生活を送って頂けるよう支援していきたく思います。(須貝)

お問い合わせ
社会福祉法人 松豊会
特別養護老人ホーム 津田の里
TEL 28-1950
FAX 27-1950

